

## 見附市立新潟小学校 実践報告書【学校報告用】

(1)事業名 ※事業名称がある場合	見附市立新潟小学校 ふるさと新潟防災教育 事業
----------------------	-------------------------

## (2)実践報告

実践内容及び児童生徒の様子	<p>①おぢや震災ミュージアム「そなえ館」の見学 中越大震災の発生時の様子や避難生活の様子について、当時中学生だった方から展示を見ながら話を聞いた。地震の大きさや被害、当時の人たちの苦労について学んだ。また、地震動シミュレータで当時の小千谷市の最大震度の時の揺れを模擬体験した。その後、まとめとして、地震などの災害に対して、自分はどんなことをして備えるか「防災宣言」にまとめた。</p> <p>②非常食体験 市販されている災害時用の長期保存の餅とご飯を実際に食べる体験を行った。その際に、長期保存の工夫がされていることをパッケージや中に入っているものから学んだ。</p>
成果と今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「そなえ館」の見学は、理科の「大地のつくりと変化」の学習を想起させるとともに、社会科の「災害からわたしたちを守る政治」を学習してから行った。このことにより、地震発生の仕組みだけでなく、地震などの災害に際して人々が協力したり、災害に備えて準備したりすることの大切さを具体的に学ぶことができた。</li> <li>・非常食体験は、市販のもの食べるだけであったため、切実感まで実感させることができなかったが、災害に備えて、命を守るために、食料が工夫されていることを学ぶことができた。実際の災害発生時に、ライフラインがストップしている状態でそのような非常食が役に立つかまで考えさせるとよかった。</li> <li>・「そなえ館」では、実際に被災した方から説明を聞くことができたが、東日本大震災で救助活動や復旧・復興作業に実際にあたった方からの生の話を聞く機会を次年度はぜひ設定したい。</li> </ul>

## 実践の様子

## ①おぢや震災ミュージアム「そなえ館」見学



## 長岡市妙見の崖崩れの様子

→道路が崩れ、埋まった自動車の中から2歳の男の子が奇跡的に救出された様子を聞く。



## 地震動シミュレータ体験

→中越大震災の実際の波形を使ったシミュレータでの揺れを一人一人が体験。



## ②非常食体験

## 災害時用の餅の試食

→お湯で温めるだけで意外に簡単にでき、普通の餅と変わらぬ味を体験。

※次時に災害用ご飯の試食の体験も行う。